



# 大飯原発「新基準に適合」???

大飯原発九月まで

大飯原発三、四号機を写真で見ると円筒形の建物の上部が球形をしている。これは原子炉格納容器そのもの。

去る六月二十日、原子力規制委は大飯原発三、四号機は「おおむね新基準に適合」と九月までの運転継続を認めることになった。

しかし事故時の緊急指揮所となる免震重要棟は二年先の二〇一五年完成予定。それまで三、四号機の間にある会議室を使うという。

福島原発では

福島原発では格納容器を覆う原子炉建屋があったが、事故後、放射線量が高くて中に入れない。格納容器から放射能が漏れたのだ。大飯原発で格納容器のすぐ外にある会議

室を使おうとするのは狂気の沙汰だ。

事故が起きたら

免震重要棟を別に設けるのは、関西電力も原子力規制委も、事故時、原子炉格納容器の傍は危ないと、考えているからだ。

そもそも、事故対策は万全で絶対大丈夫と云うなら、本社の傍らに原発を置けば良い。

石油プラント業界では百年以上ガスや油が漏れないように手を尽くしている。それでも漏れて、火災になる。原発で放射性物質が絶対に漏れないようにする技術があるなら、誰もが石油プラントに適用し、火事にならないようにしたいと考ええる。でも、そんなものはあり得ないのでは？ 皆さんはどう思われますか？

## 永田南・永田山王台

横浜市南区



京急弘明寺の西に、永田南、永田山王台の住宅地がある。一九六〇年前後に住宅地として開発されたはじめたところ。

片側一車線の道が永田南、永田山王台につながる。この辺りで、道が広くなっている。歩いて来て、何故かほつとして見上げると、空が広い。工務店、パーマ屋がある。向かいには床屋、お好み焼き屋、飲み屋がある。小さなスーパーもあったが、大規模スーパーに抗しきれず、閉店して二〇

年は経っただろうか。

昔、この先の台地は畑と雑木林。手前にはため池があり、谷戸に沿って細長く田圃が続いていたという。

そういう緑の広がる所で、乳母車から子供を降ろして遊ばせたら喜ぶだろう。